令和４年度　学校経営・運営ビジョン

福島県立福島高等学校

教育目標

世界のなかの日本人として高い理想を掲げ、豊かな徳性を備え、広く深い知性と健やかな心身をもつ有為な人材を育成する。
（１）個性を重んじ他を敬う広い心を養い、互いを認め共に生きる社会の進展に貢献する豊かな心を育てる。
（２）自律創造の精神と主体的学習の伝統を基本とし、理想を求めて健やかな生活を創造する豊かな知性を育てる。
（３）自然と生命の存在を尊ぶ深い心を養い、たくましい意志と実践力を備えた健やかな身体を育てる。

めざす生徒像
（１）主体的自律的に行動する生徒
（２）高い志をもって自己を高める生徒
（３）進んで心身を鍛える生徒

明治３１年創立梅章のおしえ
「清らかであれ、勉励せよ、世のためたれ」

教育方針

本校は、名実ともに本県を代表する高等学校として、「梅章のおしえ」を教育の基本とし、豊かな人間性と幅広い教養を持ち、次世代を担い国際社会に貢献する生徒を育成する。そのため、授業、学校行事、部活動のさらなる充実を図る。

令和４年度は、単位制移行を契機としＳＳＨの実践を踏まえ、さらなる個の伸長に努める。生徒と教職員が福高での自らの使命を自覚し、ともに成長しあえる環境創りに力点を置く。

校長　　佐藤　弘樹

今年度の重点目標

授業の質を高め自学自習を徹底し、生徒の夢の実現を支える

重点実践事項

１　授業研究に励み、質の高い授業を実践する。

２　自ら学びに向かう学びの姿勢を確立させる。

３　キャリア教育の実践により、主体的に考え行動できる生徒を育成する。

４　適切な情報の提供による進路意識の高揚を図る。

たくましい精神と責任感を養い、部活動・学校行事に主体的に取り組ませる

重点実践事項

１　基本的生活習慣を確立させるとともに、校内の美化を徹底し学習環境を整える。

２　生徒一人一人の把握に努め、心身の健康を支援する。

３　部活動・学校行事への積極的な取組を促し、文武両道を実践する。

４　生徒の主体的な課題研究活動を支援し、グローバル社会に対応できる生徒を育成する。

自主自律の精神の下、薫りのいみじき自由闊達な校風を高揚する

重点実践事項

１　伝統の重みを感じつつ、おおらかな校風を大切にする。

２　人間、社会、自然の様々な事象に興味・関心を持たせ、科学的に探究する態度を育てる。

３　生徒の学びを幅広く支え、知的好奇心を高める。

４　高い理想のもと、豊かな徳性と深い知性を身につけさせる。

各部・学年重点実践事項

	重点目標①	重点目標②	重点目標③
	授業の質を高め自学自習を徹底し、生徒の夢の実現を支える	たくましい精神と責任感を養い、部活動・学校行事に主体的に取り組ませる	自主自律の精神の元、薫りのいみじき自由闊達な校風を高揚する
教務部	○授業研究に励み、質の高い授業を実践する。 ○自学自習を徹底し、自ら学びに向かう生徒を育成する。 ○家庭学習に３時間以上取り組む習慣を確立させる。	○部活動終了時刻・下校時間を守り、文武両道を実践する。 ○様々な学校行事に積極的、かつ主体的に取り組ませる。 ○本校ホームページを通じて、各種行事の様子を速やかに発信する。	○ＳＳ探究、ベーシック探究を通して、主体的かつ多角的に学習に取り組む姿勢を養う。 ○特別活動と各教科・科目との連携を図り、個々の生徒の学習効果を高める。
生徒指導部	○基本的生活習慣を確立させる ○生徒との個別面談等を通して、学校生活の質の向上を図る。 ○盗難防止や他者への配慮を含めた自己管理能力の向上を図る。 ○交通ルール等の規範意識を高め、事故防止を図る。	○部活動参加を積極的に促す。 ○学校行事を通して、生徒の自己効力感を高めさせる。 ○部活動終了時刻を厳守させる。	○生徒主体の生徒会活動、生徒会行事を充実させる。 ○委員会活動への積極的な参加を促す。
進路指導部	○「自分が将来、どう社会と関わっていくのか」を誠実に求め続けることのできるキャリア探求力を育てながら、大学や学部･学科など、卒業後の進路を主体的に選択させる。 ○授業の質を高めるとともに、主体的に学ぶ姿勢を育てることで進路目標を実現するための学力を保証する。	○大学見学会や進路講演会、進路研究セミナーなど、さまざまな進路指導に関わる行事への意欲的・積極的な参加を促すことによって、生徒の進路目標の実現に資する。	○「自主自律」「自学自習」の精神の確立を図り、おおらかな校風のもと、リベラル・ゼミなどへの参加を通じて，物事を多角的に捉え、自ら課題を設定し、解決しようとする生徒を育成する。
図書部	○各部、学年、教科やSSH部と連携し、生徒の学びを幅広く支え、知的好奇心を高める。 ・各学年廊下に「図書コーナー」を設置し、必要な情報提供,読書の動機づけを促進する。 ・機器の整備など視聴覚教育の充実 ・課題研究に必要な図書等の充実 ・レファレンスサービスの充実	○生徒の読書の質と量を向上させ、不読率（ R1:57.1%　R2:51.8%　R3:48.0% ）の引き下げに努める。 ○図書委員会発行の図書館ニュース、ポップの作成などによる広報活動の充実に努める。	○情報活用能力育成のための情報源の提供に努める。

厚生部	○学習環境の整備を図る。 ・日常清掃の徹底と美化・保健委員会活動をさらに活発化する。 ・定期的に清掃状況の確認、安全点検を実施する。 ・定期的に環境衛生検査を実施する。 ・定期的に校内消毒清掃を実施する。 ○生徒の心身の健康を支援する。 ・日常の保健指導、健康相談の充実を図る。 ・生徒一人ひとりの自己実現を目指し、生徒理解を深めるために担任との情報交換を密に実施する。	○食に関する意識喚起をする。 ○緊急時に備え、教室等の整理整頓に努める。 ○クリーン美化活動を実施する。	○主体的に自己健康管理ができるよう支援する。 ・毎朝、各自が健康観察を実施できるよう、指導の充実を図る。 ○保健委員会活動を活発化し、健康教育の充実を図る。 ・健康や体調管理に関する自主的な調査・研究を支援する。
ＳＳＨ部	◯学校設定科目「ベーシック探究」「ＳＳ探究」を有効に活用し、探究活動に必要な技法を習得させ、自ら設定した課題を解決するための調査研究を実践することで、課題解決力の育成を行う。また、「ディベート」や「表現力育成・応用実験講座」を通して表現力や論理的思考力を育成する。 ○総合型選抜に対応できる生徒を育て、生徒の第一希望進路実現に資する取組を展開する。	◯課題研究活動をはじめとする生徒の主体的な活動をサポートし、その成果を全国規模の発表会やコンテストで発表させる ◯英語を活用した取組を積極的に導入し、グローバル社会に生きる人材の育成を図る。 ◯生徒全員を対象とした生徒研究発表会に主体的に取り組ませる。	◯単位制への転換を好機と捉え、ＳＳＨを軸としたカリキュラムマネジメントを通じて学校改革を行い、Society5.0 に対応できる教育体制を構築する。 ○生徒自身が将来の進路を意識しながら興味関心を高め、積極的にＳＳＨ活動に取り組ませる。
第１学年	○授業を中心とした学習習慣、予習・復習の習慣を身につけさせる。 ○生徒の主体的な学びを促し、知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ○自分が学びたい学部・学科や志望大学を主体的に選択できるようにする。 ○保護者との連携を密にしながら生徒の自立心を養う。	○学校行事・部活動・委員会活動に積極的に取り組ませ、最後までやり抜く強い意志やリーダーシップを育成する。 ○集団での活動を通してコミュニケーション能力を高めるとともに、主体性・協働性・多様性の育成を図る。 ○学業との両立を図りながら、自らの目標を実現していこうとする姿勢を育てる。 ○ＳＳＨをはじめとする探究型の学習を通して、課題発見力・課題解決力の習得を図る。	○基本的生活習慣を基盤とした自律的な人間性を育成する。 ○梅章の教えのもと主体的に考え、行動し解決することを通して、生徒が人間的に成長でいるように支援する。 ○生徒の知的好奇心を高め、未知なるものに挑む姿勢を育成する。 ○他者から謙虚に学ぶ姿勢を育成する。

第２学年	○生徒の主体的な学びを促し、知識・技能を基盤に思考力・判断力・表現力の伸長を図る。 ○予習・復習を徹底させ、授業内容の理解と定着を図る。 ○将来を見据え、自ら情報を集め、主体的に志望学部や学科について選択できるようにする。 ○保護者との連携を密にすることにより、生徒の自立を支援する。	○学校行事、部活動、委員会活動に積極的に取り組ませることを通し、生徒一人ひとりのリーダーシップの伸長を図る。 ○協働的な活動を通し、コミュニケーション能力の伸長を図る。 ○諸活動と学業のバランスを考え、優先順位を的確に判断し、進路目標を実現するため粘り強くやり抜く力を育てる。 ○ＳＳＨの課題研究など、探究型の学びを通し、課題発見力や解決力の伸長を図る。 ○ＩＣＴを活用した学習や活動を通し、情報を収集し活用する能力の伸長を図る。	○梅章の教えのもと、社会に貢献しようとする豊かな人間性を育てる。 ○自由を尊重するとともに、基本的生活習慣を基盤とした自律的な人間性を育てる。 ○生徒の知的好奇心を高め、常識を疑い未知なるものに挑もうとする態度を育てる。 ○他者と支え合い、磨き合い、謙虚かつ貪欲に学ぶ態度を育てる。
第３学年	○生徒が共通テストや個別試験に対応できる学力を身につけることができるような授業を実践する。 ○日々の授業を中心に据えながら進路実現のための具体的な計画を立てさせることで、主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。 ○学年集会、講演会、面談を通して進路に関わる情報を適切に提供することで、生徒が納得のいく進路を自己決定できるよう支援する。 ○学年ＰＴＡ、面談などを通して保護者との連携を密にし、生徒の進路実現を共に支援する。	○学力の基盤となる、基本的生活習慣の定着や環境の美化に努める姿勢を大切にさせる。 ○受験をはじめとする困難な状況の中でも、それを乗り越えることのできる強い心身を育成する。 ○部活動や学校行事などでの取り組みを生徒自身に自己評価させ、次の活動に生かせるようにする。 ○ＳＳＨの「表現力育成講座」などを通し、グローバル社会に対応できる生徒を育成する。	○自由と規律のバランスを取りながら多様性を尊重する姿勢を身につけさせる。 ○これまでの探究学習や課題研究などで培ってきた知的好奇心の質を高めながら、社会問題への興味・関心に繋げていく。 ○高い理想のもと、将来、自分がどのように社会と関わり、貢献できるかについて考えさせる。 ○他者との関係を大切にしながら、自分の考えをしっかり持ち、伝えることができる力を身につけさせ、社会人として必要となる素養の育成に努める。